

みんなにやさしい、特別支援教育 (11)

今年の運動会も、天候に恵まれ無事に終了しました。全ての子どもたちが、それぞれの場で活躍をし、多くの笑顔を見せてくれることができました。特別支援学級の子どもたちも競技に演技にと楽しい運動会になりました。

担任の先生から皆さんに紹介をしてほしいとの依頼がありましたので、紹介をさせていただきます。



特別支援学級の5年生の子ども達は、『組立体操にスムーズに参加できるように』と、昨年の運動会の練習を見学してから、ずっと「うでたて、ふっきん、壁倒立」の練習に取り組んできました。また、保護者にも協力を得て宿題として練習に励んできました。

結果、子ども達の努力が実り、一人技はスムーズにできました。しかし、二人技、三人技になると、とまどうことが多く、なかなか思い通りに進みませんでした。それが、当日、自分の持てる力を精一杯出し、堂々と演技をすることができました。

また、3・4年の子ども達は、速いリズムになると合わせるのが大変だったのですが、日々、練習にまじめに取り組んだことから、教師が目標としていたより、素早い動きで、みんなに合わせて、おどることができました。

1年の子ども達は、50m走の練習で、まっすぐ走ることがむずかしかったのですが、練習を繰り返した結果、本番は、まっすぐ走れるようになりました。

2年の子ども達は、たんぽぽの朝の会するとき、ダンスの曲を流し、楽しくおどることができました。学年種目の大玉ころがしでは、同じ色の2年生の子と3人組を作り力を合わせて、大玉ころがしに参加できました。「にこにこころん」では、5年生の子に助けってもらってできました。

この運動会を通じて、特別支援学級の一人ひとりの子ども達の努力もすばらしかったのですが、並ぶ順を教えてくれる子・ダンスの仕方を根気よく伝えてくれる子・技が成功するように土台となり支えてくれた子・「できるように」と、組体の持ち場を

考えてくれた子など、周りの子ども達の協力がなければ、達成感や満足感を味わうことができなかったと思います。

今回の運動会で、特別支援学級や通常学級の特別な支援が必要な子ども達が、運動会で達成感や満足感を得ることができたのは、

- ・夏休みから子ども達の実態に合った曲やダンス選び
- ・集団の美が体感できる隊形の工夫
- ・わかりやすい模範指導
- ・「がんばれ、やればできる」だけでなく、具体的で的確な指導
- ・暑さを考慮し、適度に休憩を入れる工夫
- ・見通しが持てるようにした指示やプリントの配布
- ・それぞれの成果を評価する、がんばりカードや反省カードの活用
- ・学習中やまとめで、練習の伸び、変容を子どもに伝える工夫
- ・周囲の子ども達とのつながりを大切にする工夫
- ・一人ひとりの所属感・責任感を高める工夫 など

先生方の子どもの実態に合った適切な支援のおかげです。本当にありがとうございました。

特に、交流学級担任の先生方には、学級の子ども達に加え、色々とあたたかい心配りをしていただき、本当にありがとうございました。



集団での活動を中心とする運動会は、いつもと全く違う環境に、戸惑う子ども達は少なくありません。でも、先生方が、子ども達の特性を配慮した取り組みをしていただいたことによって、楽しんで運動会に参加できたのではないかと思います。

